

Canon EF LENS

EF24mm f/1.4L II USM



 **ULTRASONIC**

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF24mm F1.4L II USMは、EOSカメラ用高性能広角レンズです。

- USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

特長

1. 非球面レンズとUDレンズを採用することにより、極めて優れた描写性能を実現しています。
2. SWC（Subwavelength Structure Coating）を採用することにより、特に入射角の大きな光が原因となるフレアやゴーストの発生を大幅に低減しています。
3. 超音波モーター（USM）搭載により、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。
4. オートフォーカスモード（ONE SHOT AF時）のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
5. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。
6. 密閉構造の採用により、優れた防塵・防滴性能を備えています。

安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

本文中のマークについて

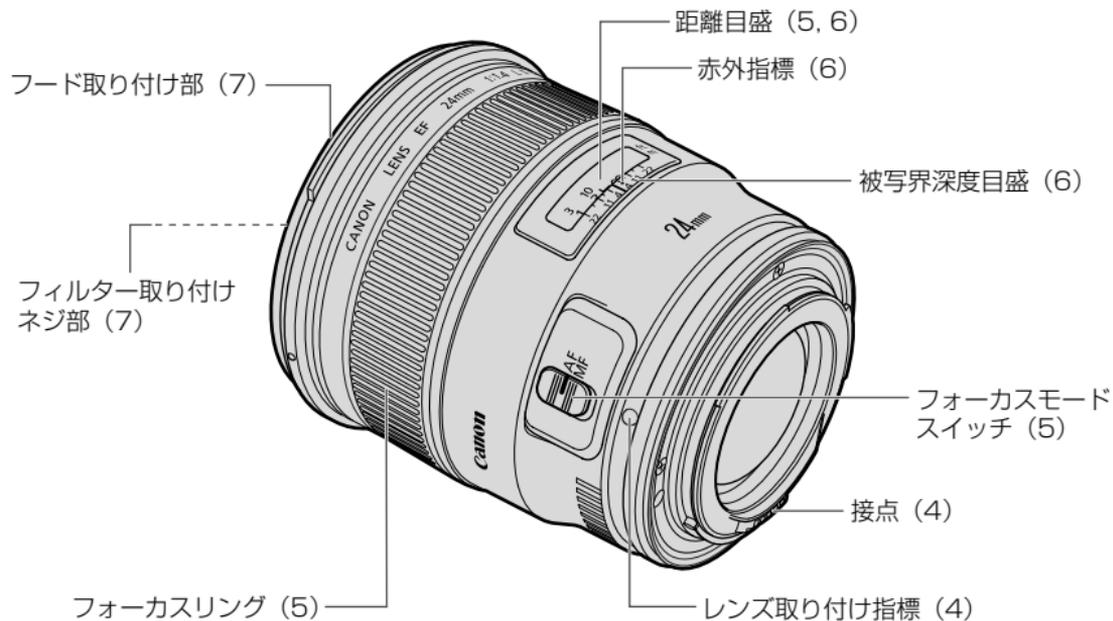


撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

各部名称



(**) の ** 部は参照ページを示しています。

1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。



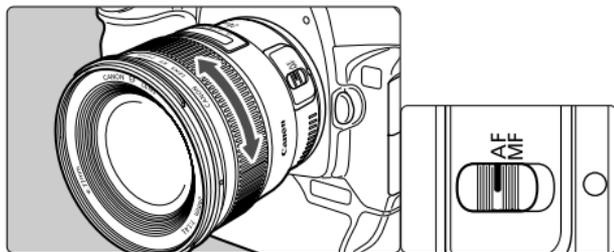
- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。



このレンズでは、防塵・防滴性能を向上させるため、マウント部にゴムリングを採用しています。レンズの着脱を繰り返すと、カメラ本体のマウントの外周部分にゴムリングの細い擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。

なお、ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換できます。(有料)

2. フォーカスモードの設定



オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。

マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。

フォーカスリングは、フォーカスモードに関係なくいつでも動かせます。



カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッター半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。(フルタイムマニュアルフォーカス)

3. 無限遠補正マーク



温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠 (∞) 位置に余裕を持たせてあります。

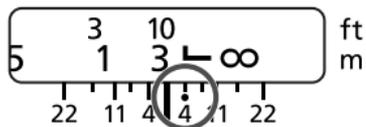
常温の無限遠位置は、Lマークの縦線と距離指標が合うところです。



無限遠の被写体にMFで正確にピントを合わせる場合は、ファインダーまたは液晶モニターの拡大画像*で確認しながらフォーカスリングを回してください。

* ライブビュー撮影可能なカメラの場合

4. 赤外指標

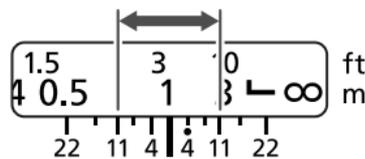


赤外指標は、白黒赤外フィルム使用時のピントを補正するためのマークです。MFでのピント調整後に、距離目盛を赤外指標の位置までずらして撮影しませぬ。

 赤外フィルムが使用できないEOSカメラがあります。お手持ちのEOSカメラの使用説明書で確認してください。

- 
- 赤外指標は800nmの波長が基準になっています。
 - 赤外フィルムに記載されている注意事項も必ずお読みください。
 - 赤フィルターを使用してください。

5. 被写界深度目盛

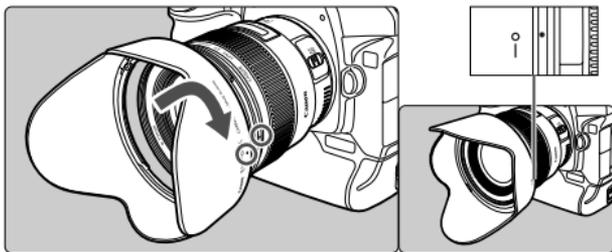


ピントを合わせた被写体の前後で鮮明に写る一定の範囲を被写界深度といいます。被写界深度の範囲は距離目盛下部の被写界深度目盛ではさまれた範囲となります。

目盛上の数値はF値を示しています。

 被写界深度目盛はあくまでも目安です。

6. フード



レンズフードEW-83Kは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端の赤指標をあわせ、レンズの赤指標とフードの停止位置マークが合うまで、フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。

収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。

7. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。



- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター（77mm）を使用してください。

8. エクステンションチューブ(別売)

エクステンションチューブEF12 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

	撮影距離範囲 (mm)		撮影倍率 (倍)	
	近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	156	167	0.67	0.50



- エクステンションチューブEF25 II は使用できません。
- 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

9. クローズアップレンズ(別売)

クローズアップレンズ500D (77mm) を使用して拡大撮影ができます。

撮影倍率は0.05~0.21倍になります。



- クローズアップレンズ250Dは使用可能なサイズがありません。
- 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

主な仕様

焦点距離・明るさ	24mm・F1.4
レンズ構成	10群13枚
最小絞り	F22
画角	対角 84°、垂直 53°、水平 74°
最短撮影距離	0.25m
最大撮影倍率	0.17倍
画界	139×208mm (0.25m時)
フィルター径	77mm
最大径×長さ	83.5×86.9mm
質量	650g
フード	EW-83K
レンズキャップ	E-77U/E-77 II
ケース	LP1319

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+21.5mm（レンズキャップがE-77Uの場合）／+24.2mm（レンズキャップがE-77 II の場合）になります。
- 大きさ・質量は本体のみの値です。
- エクステンダーEF1.4X II/EF2X II は使用できません。
- 絞り値はカメラ側で設定します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EFレンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002 (直通)

受付時間〈平日〉9：00～20：00 〈土/日/祝〉10：00～17：00 〈1/1～3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon